

1. 認知症とはどんな病気？

認知症の定義

認知症は、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こる病気です。日常生活をするうえで支障が出ている状態が、おおよそ6ヶ月以上継続しているものをいいます。

認知症を引き起こす主な病気

・変性疾患

アルツハイマー型認知症、前頭・側頭型認知症、レビー小体型認知症などの、脳の神経細胞がゆっくりと死んで、脳が萎縮する病気です。

・脳血管性認知症

脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などにより、神経細胞に栄養や酸素が行き渡らなくなり、その結果その部分の神経細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れたりすることが原因で起こります。

・その他

髄液に脳が圧迫されて起こる「正常圧水頭症」、脳の中に血液の塊ができ脳が圧迫される「慢性硬膜下血種」、甲状腺ホルモンの分泌が低下して認知症状が出る「甲状腺機能低下症」などがあります。

※若年認知症について

65歳未満で発症した場合をいいます。若年性認知症の人は、働き盛りで、就学期の子どもがいる場合も多くあります。そのため、仕事をやめたりすることで、経済的な問題が発生することがあります。また、疲れや更年期症状等と思って受診が遅れる事もあるため、早めの相談が大切です。